

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7 年 3 月 25 日

事業所名 療育サポート こぼると

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4		・伸び伸びと活動してもらえるように活動内容の検討を行っています。	・今後もスペースを広く使ってもらえるよう活動内容の検討を続けます。また、状況に応じて使うことができるよう個別スペースの確保を検討しています。
	2	職員の配置数は適切である	4			・療育を受けるお子様の個性に合わせて安全に過ごしてもらえるように人材の確保を行います。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4			・特性に合った環境設定を今後も検討します。 ・毎日の安全点検を今後も継続します。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4		・危険予測ができるものは排除しています。	・衛生的な環境を提供できるように毎日の掃除や消毒等を今後も継続して行います。 ・子供たちの活動内容にあった環境設定を行います。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	4		・職員それぞれが実行に移せるようにねらいをもって取り組んでいます。	・情報共有を行い、業務改善を常に行っている環境を提供できるようにします。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4		・アンケートを取り、保護者様からのご意見を元に改善するよう心掛けています。	・保護者様からの声や事業所評価を参考に今後も常に改善していただけるよう心掛けます。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4			・今後も常に改善を心掛けます。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	2		・今後、検討していきます。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	2	2	・オンライン等の研修も検討をしています。	・職員のスキル向上を常に意識して研修への参加も積極的に行っていきます。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4		・一人ひとりの発達段階に合わせて計画するよう心掛けています。	・今後も継続します。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4			・今後も引き続き実施し、必要に応じた情報共有を行います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4		・令和6年度より5領域支援になった為、地域支援も重要視するようにしています。	・5領域支援を基に今後も引き続き一人一人に適切な支援内容を提供できるよう、情報共有を職員間で行い、実施できるようにします。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4			・今後も継続します。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			・今後もチームでのプログラムの立案を行い、適切な支援提供を継続します。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			・今後も様々なプログラムの体験をしていただけるように継続します。
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4		・多機能事業所の為、放課後等デイサービスの利用者と一緒に時間を共有するように計画を立てています。	・集団活動と個別活動のバランスを取りつつ、様々な活動を今後も検討していきます。	

適切な支援の提供	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4		・支援前のミーティングを行い、情報共有を密に行っています。	・今後も継続します。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		・業務日誌に気付いた事等を記載し、情報共有を行うことができるように心掛けています。	・確実に情報共有が行えるように必ず時間をとり、職員間の情報共有を確実に行うように今後もミーティングを行います。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4		・個別の療育記録を日々行い、共有しています。	・今後も継続し、よりよい支援の検証と改善を行います。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4		・担当職員も参加し、見直しの必要性を検討しています。	・今後も継続し、お子さまの状況把握と見直しに努めます。	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4			・今後も継続し、必要に応じて適任な人材が参加します。	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	1	3		・今後、必要に応じて対応していきます。	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・医療的ケアが必要なお子様や重度心身障がいのあるお子様はお受けしていません。	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・医療的ケアが必要なお子様や重度心身障がいのあるお子様はお受けしていません。	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			・今後も継続します。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4			・今後も継続します。	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3		・時間の確保をし、参加できる環境を作ります。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		・状況を見ながら今後、検討します。	
	29	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している		4		・状況を見ながら今後、検討します。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			・連絡帳や送迎時に保護者様と密に情報共有を行っています。	・今後も保護者様との共通理解のうえで、よりよい支援を継続します。
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っている	2	2			・必要に応じて適切な対応ができるように準備をします。	
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			・契約時に必ず説明を行い、同意をいただいています。	・契約時に丁寧な声掛けと説明を今後も継続します。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4				・今後も継続します。

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			・今後も継続し、保護者様に寄り添った支援提供できるように心掛けます。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		4		・今後、検討していきたいと思います。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4			・今後も誠心誠意対応していきます。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4			・定期的にインスタグラムやブログの更新を行い、活動の様子を配信していますので今後も継続します。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4		・個人情報の取り扱いに関する誓約書を交わし、十分気を付けた上で取り扱うようにしています。	・今後も十分に個人情報の取り扱いには留意します。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			・今後も必要な配慮を検討します。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		・今後、検討します。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4		・各種マニュアルの作成を行い、職員間の共有を徹底している。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるような方法を検討します。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4		・年1回以上の避難訓練を行い、佐賀市役所への報告も行っています。	・現在活用しているマニュアルを保護者様へも周知できるような方法を検討します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4		・アセスメントの記載時に保護者様へ記載をしていただき、必要な情報は職員間の情報共有を行っています。	・今後も安全にご利用していただけるよう、必要な情報共有をしっかりと行います。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	1	・1人でもアレルギーがある食物は、調理等でも使用しないようにしています。	・契約を結ぶ際に必ず聞き取りを行い、アレルギー物質の摂取がないように十分に気をつけて支援を提供します。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4			・今後も継続します。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		・年1回、虐待防止に関する研修を受け、常に適切な行動と対応ができるようにしています。	・今後も継続します。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	4		・契約時に説明を行い、サインをもらっています。 ・身体拘束適正化に関する委員会を作り、記録等の検討を行っています。	・今後も継続し、定期的な事例検討等を行う事で職員全員がしっかり共通認識を持ったうえで毎日の支援に取り組めるようにします。